

名古屋都市圏の道路ネットワークの今後の方向性

名古屋都市圏の道路ネットワークの今後の方向性〔令和4年3月4日〕

- 名古屋環状2号線開通（R3.5.1）後の名古屋都市圏の交通状況の分析結果等を踏まえ、一宮西港道路及び名古屋三河道路の概略ルート・構造の検討に着手する。
- 引き続き、関係機関が連携し、名古屋都市圏の道路ネットワークの強化や、それに伴う地域開発等について、検討を進める。

<一宮西港道路>

○期待される機能、役割

- ・名二環の混雑緩和、名古屋港からの南北物流アクセス向上（南北国土軸のミッシングリンク解消）
- ・高速道路の連続利用・連絡性強化、リダンダンシーの向上（東海北陸・名神・東名阪・伊勢湾岸）

○今後の方向性

- ・一宮西港道路は、高速道路NWと一体となって効果を発揮し、NWの課題改善、機能向上に資する道路のため、**路線検討は国**で実施

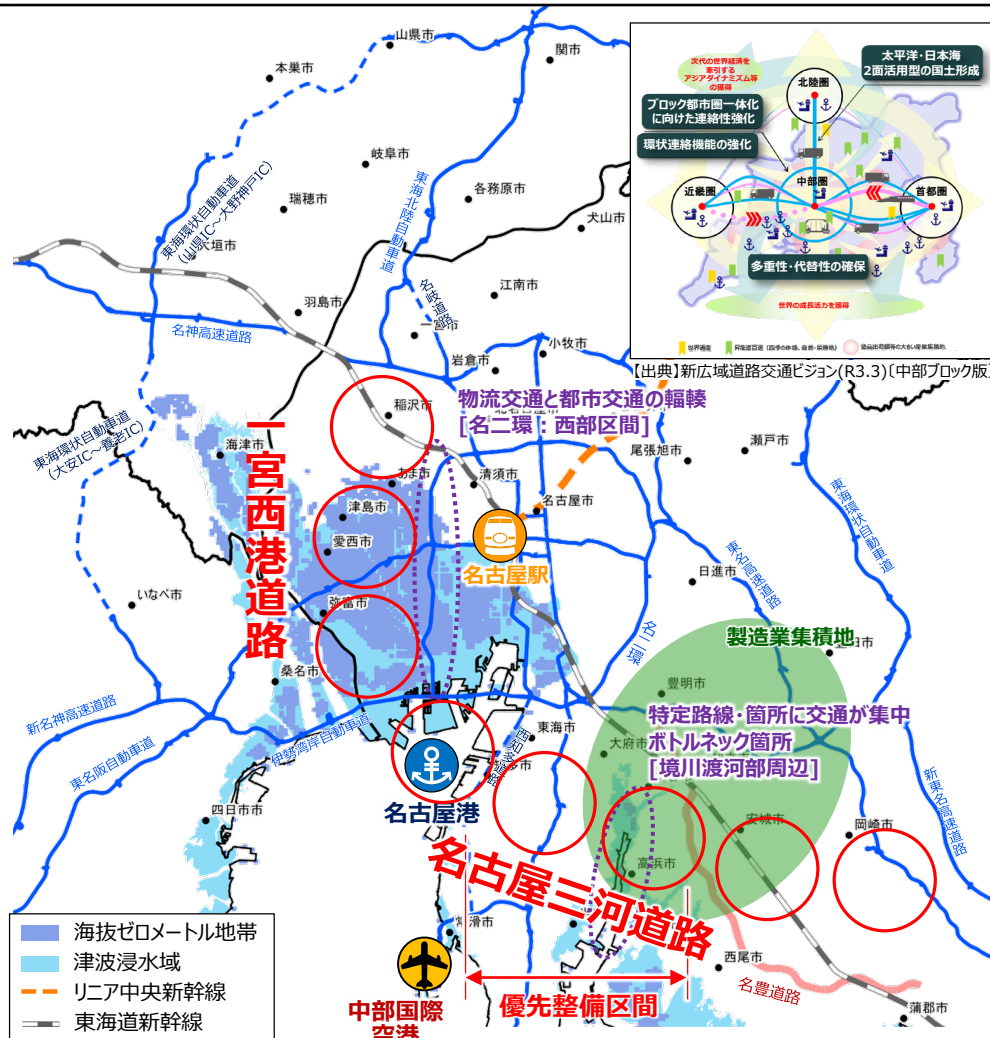
<名古屋三河道路>

○期待される機能、役割

- ・伊勢湾岸道とのダブルネットワーク化による高速道路NWの機能向上（全線整備の場合）
- ・西三河・知多地域の地域道路網の混雑緩和、境川渡河部の混雑緩和

○今後の方向性

- ・名古屋三河道路は、将来的には、高速道路NWと一体となって効果を発揮する道路であるが、延長が約50kmと長く、整備効果の早期発現を図るため、優先区間を絞り込むことが重要
- ・まずは、顕在化する地域課題の早期解決に向けて、**西知多道路～国道23号名豊道路を当面の優先整備区間**に設定し、**路線検討は県**が実施



道路交通の課題と新たなネットワーク